

本校3年生 小北剛志君がインターハイ空手道個人形でベスト16

去る6月に開催された大阪府高等学校空手道春季大会（インターハイ予選）において、能勢高校3年小北剛志君（宿野在住・西中学校出身）が男子個人形で優勝を果たし、大阪府代表として、沖縄インターハイに出場しました。

インターハイでは、3回戦までは小北君の持つ、形の正確さ力強さで相手を圧倒しました。ベスト8をかけた4回戦では、昨年度インターハイチャンピオン世田谷学園の選手と対戦しましたが、力及ばず敗退しました。各都道府県から代表2名が参加し、98名中でベスト16となりました。全国大会という大きな舞台でも日頃の練習の成果が存分に発揮できました。

*** 小北君の感想です ***

高校に入学してインターハイで上位入賞する事を目標として3年間練習してきました。日々の練習でつらいと思ったこともありましたが、応援してくれるチームの仲間や友達、先生方や家族のおかげで「頑張ろう」と思うことができました。

能勢高校の空手道部はとても先生方の指導が熱心で、色々な方から応援してもらえる環境です。能勢高校に入学してよかったと思います。

今回ベスト16という結果に終わりましたが、最初で最後のインターハイは、全力で臨むことができました。悔いはありません。

自分が今まで頑張ってきたのは、周囲の方々のサポートのおかげだと思います。今後は新たな目標を見つけ、さらに自分が成長できるように頑張ります。（小北剛志）

